

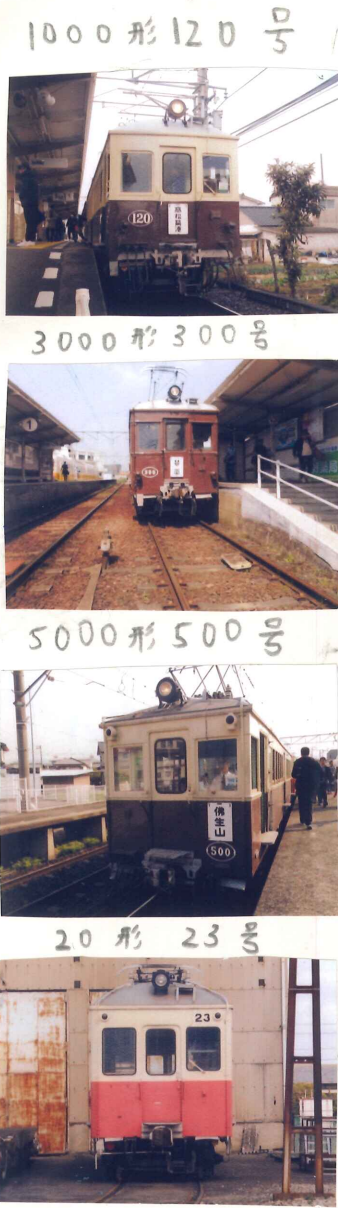
大きく亦変化しつつも100周年
ことごとく人新聞

発行日 2019年 8月
発行所 高松市立塩江小学校
5年 3号

高松市には、ことごとく(高松琴平電気鉄道)が走っています。高松市内の瓦町から琴平町、さぬき市の志度、長尾まで行く計3つの路線をもつ鉄道です。そして、100年以上のれきしを持つことごとくに、たしと口電車や、近代化産業いさんに入っている駅や橋について調べました。

4両ものこったしと口電車

ことごとくには、1000形120号、3000形300号、5000形500号、20形23号といいたしと口電車がのこっています。動く方式はつりかけ式といいい、駅を出て時速20kmしか出ていないのに、バイクのような、フリーコンと大きな音を出していることが分かりました。その中の3000形300号には、丸いまどがついていてとても人気があります。さらに、20形23号は、木そうニス仕上げて他の車両とはちがって、車内のまど回りや、天井の一部が茶色く、この車両は、とてもごうかなふんいきがします。また、この車両は、元近き日本鉄道(近鉄)から来た車両です。そんなしと口電車が毎月一回だけ運転されています。その日は、鉄道ファンで車内がふれられています。しかし!! そんなしと口電車がはい車とされることか決まりました。20形23号、5000形500号、1000形120号と3000形300号のじやんにはい車とされます。その理由は、ろうまことつ化による管理が大変にたふからたそうです。3000形300号は、事業用にのこるものですが、それ以外の車両は、てんじや保そんをさる場所が決まらないうと解体されてしまいます。

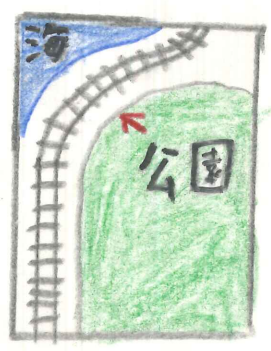


近代化産業いさん
ことごとくに入っている

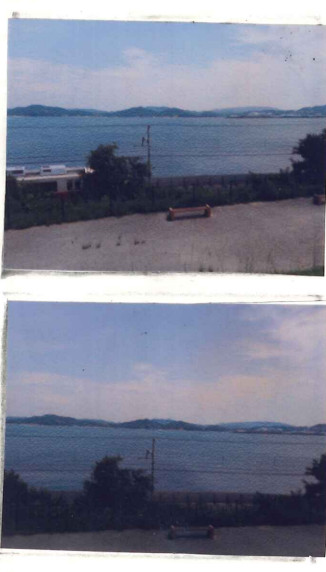
ことごとくには、橋が5つ、駅舎が4つ、しと口電車が3両、非公間の回転交流機を1つの計13つも近代化産業いさんに入っています。橋は、琴平線の、土突川、鴨部川の橋りょうが、駅舎は、琴平線の滝宮駅、長尾線の元山駅、志度線の琴平電屋島駅、そして、今はない屋島登山鉄道の屋島山上駅が、しと口電車は、20形23号以外の車両が、そして、非公間ですが平木変電所の回転交流機かに入っているといわれています。二んない!!

20形23号をのそくしと口電車以外は、今と二かの鉄道から来た車両です。
・京ひん急行
・京王電鉄
・名古屋市交
通きよく
・近き日本鉄道
色んな鉄道車両があるので、
「動く電車のはく物館」といって
はれています。

志度線の近くにある「ふさふさ公園」から電車をとると絶景!!



下の絵のようには線路があるのて、まごく景色がいいです。まごくそこの公園たのて待ち時間にあそぶこともできます。下の絵の↑からと、た景色

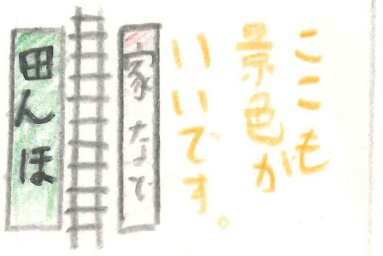


線路が海にとても近い!!

この他にもことごとくには、たくさん絶景スポットがあります。



長尾線
白山~井戸にある
田んぼ(写真右側)



景色が
いいです。
田んぼ

編集後記

今回ほくは、ことごとくのしと口電車などを調べました。はい車とされることを知って、まごくさんおんたて成にしているもありました。でも、今の車両も大好きです。これからは、ふるさを走らる「ことごとく」を大切にしていきたいです。